



KAWAI 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所

上場取引所 東

コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 河合 健太郎 TEL 053-457-1227

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	42,024	1.5	2,436	△27.0	2,861	△19.2	1,769	△24.5
2022年3月期第2四半期	41,419	47.5	3,338	—	3,540	—	2,344	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 4,682百万円（54.4%） 2022年3月期第2四半期 3,032百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	205.88	—
2022年3月期第2四半期	272.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	70,747	37,597	52.9
2022年3月期	68,391	33,559	48.8

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 37,401百万円 2022年3月期 33,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	3.8	5,000	△25.3	4,900	△32.9	3,200	△36.6	372.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	9,011,560株	2022年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	416,774株	2022年3月期	416,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	8,594,816株	2022年3月期2Q	8,594,924株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、資源価格高騰や急速な円安による物価上昇のため消費者マインドの悪化、実質購買力の低下が懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限緩和等に伴い、穏やかな回復基調は維持しております。

また世界経済は、ウクライナ危機の長期化、中国のゼロコロナ政策による経済活動停滞の影響などにより、先行きは不透明となっています。

このような経営環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Resonate 2024」（2023年3月期から2025年3月期）を策定し、2027年に迎える『創立100周年』とさらにその先の継続的な発展に取り組んでおります。

こうした中で、6月に宮城県仙台市で開催された『第8回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門』において、予選からファイナルまで一貫して当社Shigeru Kawaiフルコンサートピアノ『SK-EX』を使用したルウォ・ジャチン氏（中国）が優勝、またファイナリスト6名全員が『SK-EX』を使用するという当社として喜ばしいトピックがありました。近年の国際ピアノコンクールにおいて、多くのコンテストが『SK-EX』を使用し上位に入賞されたことにより、多くの方に認知していただけるようになりました。『SK-EX』は、これまでコンクールやコンサート専用モデルとして展開してまいりましたが、本年10月から日本国内での販売を行うことを、本年7月に発表いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 42,024百万円（前年同期比 604百万円増）、為替環境の変化や海上輸送費、材料費の高騰などにより営業利益につきましては 2,436百万円（前年同期比 901百万円減益）となり、経常利益は 2,861百万円（前年同期比 678百万円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,769百万円（前年同期比 574百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、連結子会社の株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、第1四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。そのため、前年同期比較については、前第2四半期連結累計期間の数値を当該変更後の数値で比較しております。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、『Shigeru Kawai』をはじめとする鍵盤楽器の販売において前期に引き続き世界各地で好調に推移いたしました。また音楽教室や体育教室においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める中、生徒募集やイベント開催などに取り組みました。これらの結果、売上高は 35,321百万円（前年同期比 1,536百万円増）となり、為替環境の変化や海上輸送費、材料費の高騰などにより営業利益は 1,765百万円（前年同期比 719百万円減益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、供給先の生産調整により半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどもあり、売上高は 5,199百万円（前年同期比 160百万円減）となり、営業利益は 660百万円（前年同期比 201百万円減益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受注減少などにより、売上高は 1,503百万円（前年同期比 770百万円減）となり、営業利益は 15百万円（前年同期比 1百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、棚卸資産の増加などにより 70,747百万円（前期末比 2,356百万円増）となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少などにより 33,150百万円（前期末比 1,681百万円減）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加などにより 37,597百万円（前期末比 4,038百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました内容から変更はありません。
なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する
様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,659	20,367
受取手形及び売掛金	9,485	9,122
商品及び製品	6,483	8,451
仕掛品	1,738	1,998
原材料及び貯蔵品	4,157	5,994
その他	2,068	2,733
貸倒引当金	△157	△197
流動資産合計	46,436	48,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,107	4,175
機械装置及び運搬具(純額)	1,779	1,774
土地	6,354	6,395
その他(純額)	1,090	1,128
有形固定資産合計	13,331	13,473
無形固定資産	636	642
投資その他の資産		
投資有価証券	5,313	5,593
繰延税金資産	1,235	1,079
その他	1,589	1,657
貸倒引当金	△152	△169
投資その他の資産合計	7,986	8,160
固定資産合計	21,955	22,277
資産合計	68,391	70,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,717	5,770
短期借入金	5,895	5,505
未払法人税等	1,770	1,171
賞与引当金	968	1,084
製品保証引当金	171	193
その他	6,050	5,690
流動負債合計	20,572	19,415
固定負債		
長期借入金	4,396	4,053
環境対策引当金	5	3
株式報酬引当金	—	5
退職給付に係る負債	8,829	8,642
資産除去債務	594	591
その他	432	439
固定負債合計	14,259	13,734
負債合計	34,831	33,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,282
利益剰余金	24,895	26,020
自己株式	△964	△989
株主資本合計	32,311	33,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	583
為替換算調整勘定	876	3,521
退職給付に係る調整累計額	△165	△140
その他の包括利益累計額合計	1,072	3,965
非支配株主持分	174	195
純資産合計	33,559	37,597
負債純資産合計	68,391	70,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	41,419	42,024
売上原価	30,005	30,728
売上総利益	11,414	11,295
販売費及び一般管理費	8,075	8,858
営業利益	3,338	2,436
営業外収益		
受取利息	33	44
受取配当金	40	48
固定資産賃貸料	20	24
為替差益	144	369
その他	47	36
営業外収益合計	286	523
営業外費用		
支払利息	41	40
寄付金	19	29
その他	23	28
営業外費用合計	84	98
経常利益	3,540	2,861
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	25	—
特別利益合計	25	0
特別損失		
固定資産除却損	11	23
特別損失合計	11	23
税金等調整前四半期純利益	3,553	2,838
法人税等	1,191	1,071
四半期純利益	2,361	1,767
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,344	1,769

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,361	1,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△217	221
為替換算調整勘定	859	2,681
退職給付に係る調整額	31	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△13
その他の包括利益合計	670	2,915
四半期包括利益	3,032	4,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,005	4,661
非支配株主に係る四半期包括利益	27	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,785	5,360	39,145	2,273	41,419	—	41,419
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	1	184	185	△185	—
計	33,785	5,361	39,146	2,458	41,605	△185	41,419
セグメント利益	2,485	862	3,348	14	3,363	△24	3,338

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△24百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,321	5,199	40,521	1,503	42,024	—	42,024
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	3	4	63	67	△67	—
計	35,323	5,202	40,525	1,566	42,092	△67	42,024
セグメント利益	1,765	660	2,426	15	2,442	△5	2,436

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△35百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、これらの変更を反映し作成したものを開示しております。